# ■ Windows版 Becky設定手順

## ○ 概要・説明など

Beckyを利用して、教育用メール(ns)や研究用メール(sin)のメール送受信を行うための設定手順です。

### ○ 手順書更新履歴

手順書作成日(第一版)	2015/10/09	作成	大杉	新規作成
	2019/11/11	更新	大杉	教育用メールについて学外からPOP3S,
				IMAPS, SMTPSアクセスが可能にな
				ったため修正
	2022/08/18	更新	大杉	2022年新システム対応
	2022/11/16	更新	大杉	体裁修正

### 目次

■ Windows版 Becky設定手順	1 -
○ 概要・説明など	1 -
○ 手順書更新履歴	1 -
【1】Beckyを利用するにあたり	2 -
【2】Beckyへのアカウント追加手順	3 -
、 【3】POP/IMAPのメリットと選択について	8 -

## 【1】Beckyを利用するにあたり

教育用メール(ns)、研究用メール(sin)共にWEBメールシステムとなっており、以下のURLにアクセス することで、ネットワークに接続されているコンピュータであれば学内・学外※問わずメールの送受信が出 来るシステムとなっています。

教育用メール(ns): <u>https://mail.ns.kogakuin.ac.jp/</u>

研究用メール(sin): <u>https://sin.cc.kogakuin.ac.jp</u>

※一部海外のネットワークではインターネット接続に制限が設けられている場合がありますので渡航前 に確認をしてください。

当手順はBeckyを利用して教育用メール(ns)、研究用メール(sin)を送受信するための設定手順となります。

# 【2】Beckyへのアカウント追加手順

教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)用のアカウントを新規追加する場合の手順です。 Beckyのインストールは各自済ませておいてください。





2-04. 以下の通り設定します。	[教育用メール(ns)2]の設定 ×
<サーバーのポート番号>	X→ルボックス名(X): 教育用メール(ns)
SMTP : 465	空や設た   接続   入一ル作成   文信   3+144   サーバーのボート番号    SMTP認証    SMTP: 465  (標準: 25)    CRAM-MD5    LOGIN    PLAIN
POP3 : 995	POP3: 995 (標準: 110) ユーザーD(U):
< <u>SMTP認証</u> >	IMAP4:     143 (標準: 143)       SSL/TLS開連     パスワード(O):       ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用
SMTP認証:✓	受信用(C): デフォルト /
CRAM-MD5 : 🗸	Xali An(i) 「ソカルト」     Source 200 (2004) 「 2000 (2004) □ 20000 (2004) □ 2000 (2004) □ 2000 (2004) □ 2000 (2004) □ 2000 (2
LOGON : 🗸	ビリク1 アノト町 明音を(UHI(F) … IMAP関連
PLAIN : 🗸	IMAPフォルダ: □ 接続時にフォルダの未読数を更新(V) □ ブッ焼ちサービートに要ノ(ア・・・・ブッ焼のフォルダダ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
<ssl tls関連=""></ssl>	□ この相ビラーパー上に置く(I) この相のフォルダ名: □ 草稿をサーパー上に置く(L) 草稿のフォルダ名: Draft
 受信用 : デフォルト	<ul> <li>□ 送信済みをサーバー上に置く(E) 送信済みのフォルダ名: Sent</li> <li>□「タスク」をサーバー上に置く(K) □ 拡張ネームスペースを表示(H) □ ↑ 自動取得(Z)</li> </ul>
送信用:デフォルト	ブロファイル(R): (標準) 〜 新規(W) 削除(D) 取込(Y)
その他チェックボックス等は画像を参考に	グローバルブロファイル(G) OK キャンセル ヘルブ
してください。入力が終わりましたら[0	
K]をクリックしてください。	
<u>手順2-05~2-06はIMAP4の設定手</u>	
順になります。POP3で設定をした方	
は、ここまでで設定完了です。	



2-06.以下の通り設定します。	[研究用メール(sin)]の設定 ×
<サーバーのポート番号>	メールボックス名(X): 研究用メール(sin) ☑ 巡回対象(/)
SMTP : 465	基本設定 接続 メール作成 受信 ■ 詳細 サーバーのポート番号
ΤΜΔΡ4 : 993	SMTP: 455 (標準: 25)  (CRAM-MD5 / LOGIN / PLAIN 2002 (標準: 110) フーザーID(I):
	POP3: 999 (標準:110) ユッルの). IMAP4: 993 (標準:143) パスワード(O):
	SSL/TLS関連 ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用
SMTP認証:✓	受信用(C): デフォルト / POP before SMTPを使用
CRAM-MD5 : 🗸	送信用(1): デフォルト V 認証後 300 ジリが待っ 認証用サーバー(A)
LOGON : 🗸	<ul> <li>✓ クライアント証明書を使用(F)</li> <li>✓ ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)</li> </ul>
	IMAP間連           IMAPフォルダ:           」 接続時にフォルダの未読数を更新(V)
	☑ ごみ箱をサーバー上に置く(T) ごみ箱のフォルダ名: Trash
< <u>SSL/TLS関連</u> >	□ 草稿をサーバー上に置く(L) 草稿のフォルダ名: Draft
受信用:デフォルト	□ 」 迂信済みをサーバー上に置く(E) 迂信済みのフオルタ名: Sent □ 「タスク」をサーバー上に置く(K) □ 拡張ネームスペースを表示(H) □ ↑ 自動取得(Z)
送信用:デフォルト	
FSMTPを使田・√	
その他チェックホックス等は画像を参考に	
してください。草書や送信済みもサーバと	
同期を取りたい方はチェックを入れてくだ	
さい。入力が終わりましたら「 <mark>OK</mark> 1をクリ	
ックレビヘルロといっ	
以上で設定は完了です。	

## 【3】POP/IMAPのメリットと選択について

#### POPのメリット

POPのメリットは、サーバーからメールを受信してしまえば、インターネットに接続していなくてもいつでも メールを読むことができ、大量のメールでもメールを保存するパソコンの容量の許す限り保存しておける ことです。

- メールがローカルのパソコンへ保存されるため、例えばインターネット接続していない状態でも過去に
   受信したメールを読むことが出来ます。
- インターネット接続が必要なのはメールの送受信を行う時のみです。
- メールを保存するために必要なサーバーのディスク容量の心配がありません。

#### **IMAPのメリット**

IMAPのメリットは、サーバー上に保存しているメールを大学・自宅などの複数の場所からアクセスして 読むことが出来る点です。パソコンでメールを保管していてもパソコンが壊れてしまえば全て読めなくなり ます。メールのバックアップ運用が苦手な方はサーバー上で保管した方が大切なメールを失う可能性が 低くなります。

- メールの実態はサーバー上で管理されるため、複数の異なる場所から同じメールボックスへアクセス できます。
- パソコンが壊れても、メールがなくなる心配はありません。
- サーバー上に作成したフォルダ構成は、IMAPであればどこでも同じフォルダ構成でアクセスできます。

#### POPを選択するケース

- メールの送受信を一カ所から(大学のパソコンにインストールされているOutlook等)一つのクライア ントのみで行う事を想定している場合
- インターネット接続できないことが想定できる場合や、インターネット接続ができない環境であっても 過去のメール確認が必要になる場合
- 大量のメールを管理する必要があり、サーバーのディスク容量では足りない場合

#### IMAPを選択するケース

- サーバー上にメールを保管し、複数の場所や、複数のメールクライアント・端末からメールへアクセス する運用を想定している場合
- インターネット接続が常時行える環境の場合
- ・ サーバーのディスク容量で間に合う場合
- パソコンの故障やデータのバックアップを懸念している場合